

授業情報 / Class Information

[科目一覧へ戻る / Return to the Course List](#)

2022/05/18 現在 / As of 2022/05/18

- [基本情報 / Basic Information](#)
- [詳細情報 / Detailed Information](#)
- [授業計画詳細情報 / Class Schedule Details](#)

基本情報 / Basic Information

開講科目名 / Course	全学総合講座(経営者が語る現代企業論2) / INTERDEPARTMENTAL LECTURES (BUSINESS MANAGERS DISCUSS CONTEMPORARY CORPORATIONS 2)
開講所属 / Course Offered by	大学全カリ総合科目 /
ターム・学期 / Term・Semester	2022年度 / 2022 Academic Year 秋学期 / FALL SEMESTER
曜日 / Day, Period	金2 / Fri 2
開講区分 / semester offered	秋学期 / Fall
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	上坂 卓郎

担当教員情報 / Instructor Information

教員名 / Instructor	教員所属名 / Affiliation						
上坂 卓郎	経営学科 / MANAGEMENT						
授業の目的・内容 / Course Objectives	この講義は、企業のトップマネジメント経験者が業界事情や企業経営の実務をやさしく講義するものである。講義では広範な業種の企業が取上げられる。講義の受講を通じて、学生諸君が「企業とはなにか」を考え、本学で専門知識を深く学ぶ意義を発見したり、将来の職業選択のヒントを見つける契機となる授業である。 なお、本科目は全学部の学生を対象としているので、企業や経営という言葉になじみの薄い学生にもわかるような平易な内容となっているが、時に専門用語も使用されることがある。						
授業の形式・方法と履修上の注意 / Teaching method and Attention the course	当授業は対面授業で行い、ライブ配信も録画配信も行わない。 講師陣は、日本を代表する大企業の元経営者である。毎回多様な業種（製造業、非製造業）出身の講師がオムニバス形式で、企業の経営戦略や意思決定の実際について講義を行う。また社会に出て働くことについて、講師ご自身の豊富な経験から貴重なアドバイスも与えられる。 概ね1年生でも理解できるように平易な説明が行われる。講義と平行して企業について勉強し理解を深めることを期待する。 毎回の講義を一般の講演のように聞き流す学生がいるが、毎回講義の中から自ら知識を掴み取る努力が必要である。また講師は実務経験豊富な慧眼の元企業経営者である。学生諸君が社会人候補として見られていることも忘れないように。遅刻・途中退出等は厳禁（事情がある場合は除く）。スマホの使用も認めません。授業の性格上独習はできない。特に就職活動を行う4年生は注意すること。						
事前・事後学修の内容 / Before After Study	事前学修としては講師の属する業界地図や会社四季報などを参考にして調べること。 事後学修としては、配布された資料を基にノートを整理することや専門用語など理解できなかったことを調べる。本学では授業時間のそれぞれ2倍程度・4時間程度の授業外学習（事前・事後学習）が必要とされている。						
テキスト1 / Textbooks1	<table border="1"> <tr> <td>書籍名 / Title</td> <td rowspan="5">毎回講義関連のレジュメを配布する</td> </tr> <tr> <td>著者 / Author name</td> </tr> <tr> <td>出版社 / Publisher</td> </tr> <tr> <td>ISBN / ISBN</td> </tr> <tr> <td>その他（任意） / other</td> </tr> </table>	書籍名 / Title	毎回講義関連のレジュメを配布する	著者 / Author name	出版社 / Publisher	ISBN / ISBN	その他（任意） / other
書籍名 / Title	毎回講義関連のレジュメを配布する						
著者 / Author name							
出版社 / Publisher							
ISBN / ISBN							
その他（任意） / other							
テキスト2	書籍名						

/Textbooks2	/Title 著者 /Author name		
	出版社 /Publisher		
	ISBN /ISBN		
	その他（任意） /other		
テキスト3 /Textbooks3	書籍名 /Title		
	著者 /Author name		
	出版社 /Publisher		
	ISBN /ISBN		
参考文献等1 /References1	書籍名/サブ名 /Title		
	著者 /Author name		
	出版社/URL /Publisher		
	ISBN /ISBN		
参考文献等2 /References2	書籍名/サブ名 /Title		
	著者 /Author name		
	出版社/URL /Publisher		
	ISBN /ISBN		
参考文献等3 /References3	書籍名/サブ名 /Title		
	著者 /Author name		
	出版社/URL /Publisher		
	ISBN /ISBN		
評価方法 /Evaluation	定期試験期間中に試験を行う。追試、レポートによる評価は実施しないので4年生は注意すること。		
関連科目 /Related Subjects	経営学関連科目をとることを勧める。		
備考 /Notes	事前にPORTA II で周知するが講師が一部変更になる場合がある。		
到達目標 /Learning Goal	身近な難問や関心を学問に結び付け、現代社会に必要な教養を習得する動機づけとし、将来、様々な知的領域を探索できるようにする。		
回 /Time	授業計画（主題の設定） /Class schedule	授業の内容 /Contents of class	事前・事後学修の内容 /Before After Study
1	観光産業(ツーリズム)の光と影	航空会社系商社役員がツーリズムから世界を見る視点について講義する	
2	精密化学産業での経験から	化学メーカー役員が幅広い要素技術を駆使した製品開発について講義する	
3	カーボンニュートラルと次世代自	自動車メーカー役員が自動車の未	

	自動車	来、特に電動化、自動化というテーマについて講義する	
4	日本の通信インフラの変遷	電機メーカー役員が携帯電話ビジネスの発展と将来について講義する	
5	小売の戦略	百貨店役員が音楽ソフト、スポーツビジネスや百貨店をモデルに小売り戦略を講義する	
6	消費財のマーケティング実務と起業経験	総合商社元役員が海外ブランド輸入ビジネスの実際を講義する	
7	消費者の目に映らない医薬品卸売業界	医薬品商社役員が病院向け医薬品の流通について講義する	
8	変わる住宅会社	住宅メーカー役員が海外展開、脱炭素時代の住宅・建設業界ビジネスの変化を講義する	
9	企業が抱える課題解決へのIT活用	外資系コンピュータ会社役員がIT活用によるビジネス改善の事例を講義する	
10	カーボンニュートラルに向けての課題	電源開発会社役員が環境問題について講義する	
11	味の素の創業以来の志とグローバル化の歩み	食品メーカー役員が自社の経営理念や製品開発について講義する	
12	自動車部品と海外工場建設	自動車部品メーカー役員が化成品の海外工場の展開について講義する	
13	ビール製造の歴史と商品開発の変遷	ビール会社役員が自社の商品開発について講義する	
14	顧客価値創造マーケティング	トイレットリー(日用品)メーカー役員が製品開発から生産までを講義する	

[科目一覧へ戻る / Return to the Course List](#)